

分析センター創立 20 周年に思う

理学部長・理工学研究科長 田隅 三生

分析センターが創立 20 周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。本センターが創設された 1980 年(昭和 55 年)ごろはあらゆる分析機器の高度化が急速に進みはじめた時期にあっており、そのような機運のなかで本センターが全学共用施設として設置されたことは極めて時宜を得たものであった。分析センターの創設とその後の運営に尽力された多くの方々に対して、深い敬意と感謝の意を表したいと思う。

創設以来、分析センターは理工学分野の幅広い研究活動に計りしれないほど大きな恩恵を与えてきた。とくに、過去 10 年間には本センターの測定機器が質量ともに充実し、本学における研究の水準を飛躍的に高めることに多大の貢献を行ってきたことは周知のところであろう。

現在、大学をめぐる諸般の情勢は極めて厳しいものになりつつある。本学はこの困難な状況に積極的に立ち向かい、それを克服することによって、21世紀における本学の存在意義を確立しなければならぬ。そのためには、本学における研究活動をこれまで以上に活性化し、レベルアップすることがぜひとも必要である。そのなかで、分析センターに期待される役割は益々大きなものとなるであろう。全学の理解と協力により、分析センターが一層の発展を遂げることを願っている。